

日本CT検診学会『日立宣言2019』

本学会は“**低線量CT検診**”にかかわるすべての人のために今後の行動指針について以下の通り宣言いたします。

- 1.肺がん早期発見のための“**低線量CT検診**”に関する正しい情報を発信し、啓発活動に取り組みます。
- 2.がん検診にかかわる医師・診療放射線技師・保健師・看護師・行政担当者など関係者、各種関連企業および団体との連携に努めます。
- 3.国・行政への政策提言を行います。

以下具体的な5カ年行動計画を提示いたします。

5カ年計画 戦略目標（2024年3月までの5年間）

- 肺がんCT検診認定機構が推進する人材育成などへの協力（2024年3月まで）
認定医師 目標値：2,000名（現状1,346名）
認定技師 目標値：2,000名（現状1,250名）
認定施設 目標値：200施設（2018年4月より施設認定開始 現状18施設）
- 低線量肺がんCT検診体制確立
学会ホームページでの一般向け優良施設の紹介（2020年3月まで）
がん検診担当者向け情報発信（2020年3月まで）
一般向け情報発信（2020年6月まで）
- 登録事業促進 肺がんCT検診認定機構「認定施設データベース」活用に向けた検討
学会にて積極的に情報公開（2020年4月より継続的に毎年報告）
- 大腸がんCT検診に関する情報の発信強化（2024年3月以降継続）
- COPD・禁煙支援・骨強度・内臓脂肪・循環器疾患など関連研究促進（2024年3月以降継続）